

科目ナンバリング		開講学期	秋学期	単位数	2単位	配当年次	1年生
<b>授業概要</b>		<b>教科書</b>					
<p>今年度の教養総合は「異文化と他者の理解」と題し、異なる文化・価値観・専門分野が接する境界で研究されている先生方にお話をさせていただきます。ゲーテのことは、「外国語を知らない者は自分自身の言語について何も知らない」とあり、ドイツ語の原語では、Wer fremde Sprachen nicht kennt, weiss nichts von seiner eigenen. と言います。ここで「外国語」にあたるfremde Sprachenが複数形であることに注目しましょう。自分とは異なるものを理解しようとすれば、複数で2つ以上の世界を知る必要があるという意味です。確かに異文化には自分から地理的に遠い世界にあるものもあり、これが2つ以上となるとハードルが高いと思われるかもしれませんが、しかし、異文化が混在した世界に対処することは社会人になってから必ず直面する問題であり、本講義から得られる知見を実生活で有益に活用されることを期待します。</p>		書籍名	著者	出版社	出版年	使用しない。	
<b>到達目標</b>		<b>参考書</b>					
<p>異文化は他者として自分の身近にあるものもあり、場所と時間を同じくしていても異なる価値観が混在していることもあります。自らとは違う文化に入っていく意義、何をどうすることが他者を理解することかという問題、異なる文化が接する時に生じる問題点と新展開といったテーマについて知見を摂取し、実生活で活用できるように理解を深めること。</p>		書籍名	著者	出版社	出版年		
<b>評価の方法と基準</b>		<b>備考</b>					
レスポンス・ペーパーへの記入（40％）＋期末試験（60％）		<p>1. 講義の順番は変更することがあり、授業内容も変更の場合がある。その際は掲示等で連絡する。                  2. 教科書は使用しないが、担当者によって配布資料がある回もある。                  3. 担当者から参考書が提示されることがある。その場合は積極的に読んで、講義内容の理解を深めてほしい。</p>					

授業の計画		
1	異文化の理解と外国語の翻訳	9/29 担当：西田光一
2	メカトロニクス技術と我々の日常生活	10/6 担当：江鐘偉（山口大学）
3	異文化間の人間関係	10/20 担当：小林浩明（北九州市立大学）
4	言語と文字の交流史	10/27 担当：橘誠
5	自我と他我	11/3 担当：西田雅弘
6	第二言語習得と異文化理解	11/10 担当：高路善章
7	悪臭研究から見た異文化理解	11/17 担当：樋口隆哉（山口大学）
8	中国の少数民族の面白い風習	12/1 担当：篠原征子（本学非常勤）
9	日本語教育における異文化	12/8 担当：重田美咲
10	西洋文学・思想における「私」とは何か？	12/15 担当：後藤美映（福岡教育大学）
11	韓国の食文化について	12/22 担当：大川大輔（本学非常勤）
12	Baseballと日本野球	12/24 担当：中嶋健
13	複眼的思考と批判的思考	1/5 担当：漆原朗子（北九州市立大学）
14	外国語で「自分」を伝えること	1/19 担当：Kristen Sullivan
15	まとめ	1/26 担当：西田光一